

# 障害ある子、家族 いきいきと躍動

## 県内260人 一宮で運動会

障害がある子と家族のための運動会が9日、一宮市光明寺の市総合体育館であった。約260人がパン食い競走やボウリングゲームなど5種目を楽しみ、外出が難しい子どもたちのために動画配信も行われた。

(児島恵美)

県肢体不自由児者父母の会連合会(愛肢連)と愛肢連西尾張ブロック連絡協議会が主催。一宮、春日井市などの西尾張地域に加え、岡崎、豊橋市など三河地域



ボウリングゲームを楽しむ子ら＝一宮市総合体育館で

いや両親と協力してボールを投げ、ピンに当たると両手を挙げて喜ぶ姿が見られた。一宮市の長谷川敬汰さん(18)は、運動会が友人と会える貴重な機会になっているという。「3歳からほぼ毎年参加している。体を動かすのが好き」と話した。事務局の松林義武さん(87)は「順位や勝ち負けにかかわらず、皆で楽しんでもらうのが目的。他市町の保護者との横のつながりも大切にしたい」と話した。

2026年5月10日(日) 中日新聞 23面より

この記事は中日新聞社の承諾を得て掲載しています。